

「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成

～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～

泉佐野市立第三小学校



## 『GIGA(ギガ) スクール構想』って？

木々の緑が美しい季節を迎えました。新しい年度が始まってこの間、家庭・地域の皆様からさまざまなご支援、ご協力をいただき、子どもたちは毎日の学校生活を生き生きと送っています。

さて、本校は泉佐野市の ICT 特認校として、日々の学習場面で ICT の有効活用を通じた学力向上に努めています。1人1台の PC 端末（本市は Chrome book）配付は、国の『GIGA スクール構想』に基づいたものであり、令和の学びのスタンダードとされています。

では、なぜ1人1台の PC 端末なのでしょう。

これからの時代（創造社会の時代）を生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。学校は一人ひとりの子どもたちの多様性に対応し、誰一人として取り残すことなく、豊かな創造性や「未来社会の創り手」となるべき資質、能力を育む必要があります。

そこで、子どもたち一人ひとりの学習を公正で最適なものとするために、これまでの日本の教育実践の積み重ねと、最先端の ICT のベストミックスを図り、教職員と子どもたちの力を最大限に引き出すことが『GIGA スクール構想』の理念です。

OECD 加盟国の生徒の学習到達度調査(PISA2018)を見てみますと、日本の子どものデジタル機器の活用状況は以下のような結果でした。

- ・「コンピューターを使って宿題をする」 日本（ 3.0%）⇔OECD 平均(22.2%)
- ・「学校の勉強のために、インターネット上のサイトを見る」（ 6.0%）⇔OECD 平均(23.0%)
- ・「ネット上でチャットをする」 (87.4%) ⇔OECD 平均(67.3%)
- ・「1人用ゲームをする」 (47.7%) ⇔OECD 平均(26.7%)

約5年前のデータですが、当時の日本の子どもたちは、海外に比べデジタル機器を学習に使う時間は少なく、遊び等に使う時間が多いことがわかります。

学校では、「子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する機会を設けること。」「一人一人の反応や考えを即時に把握しながら、双方向的な授業を創造すること。」「一人一人の学習の進捗状況を把握し、様々な特徴を持った子どもにきめ細やかな対応をすること。」など、1人1台の PC 端末の活用をこれからも進めていきます。

本校の研究テーマは「子どもの自立をめざす授業」です。PC 端末活用を通して、子どもたちが学ぶことの楽しさや意義を感じる授業の設計に、教職員一同努めてまいります。

お子様が PC 端末を持ち帰りまし際には、ご家庭でもご支援いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



校長 泉谷 一

※参考文献 「GIGA スクール構想の実現へ」文部科学省

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_0001111.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_0001111.htm)

※学校での日々の様子や情報は HP にて更新中です。